

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

お知らせ 住所変更等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

公告方法 電子公告により、当社ホームページ
(<http://www.advanced-media.co.jp/ir/>)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

・株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株主様向けアンケート


株主の皆様の声をお聞かせください


当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 3773


Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

 空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差し上げさせていただきます。

 ※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.e2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00～17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

2009 AMI Report

株主・投資家の皆様へ

株式会社アドバンスト・メディア 第12期年次報告書

2008年4月1日から2009年3月31日

アドバンスト・メディアは、「機械」との自然なコミュニケーションによる、
～ HCI (Human Communication Integration) の実現を目指しています。～



Advanced Media, Inc.

証券コード3773

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2008年5月に3ヵ年の中期経営計画を発表し、「黒字化の実現」と「事業の成長路線の確立」を目指しております。当連結会計年度はその初年度にあたり、「コアドメインの確立」および「収益力の向上」に注力してまいりました。

「収益力の向上」、その一歩を踏み出すことができました。

当連結会計年度におきましては、年度中途の金融問題を契機とした景気の急速な悪化の影響等もあり当初の売上目標には届きませんでしたが、損益面では経営改善諸施策の実施により、当初計画より大きな改善を図ることができました。

「コアドメイン」の確立が進んでいます。

当社は、音声認識事業で自ら市場創造に取り組んでおります。当連結会計年度におきましては、ビジネス分野で景気後退の影響を受けながらも、富士フィルム株式会社や株式会社日立ハイテクフィールドディング等の大手企業向けコールセンタ案件の受注を獲得いたしました。加えて2009年4月にはAIGエジソン生命保険株式会社のコールセンタ案件の受注を獲得いたしました。さらに議事録分野では2009年5月に東京都議会における議事録作成支援システムを受注するなど着実に市場を拡大しております。

また株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ提供の「音声入力メール」サービスに加え、iPhoneなど携帯端末を通じた新サービスの提供や、株式会社ベネッセコーポレーションの「進研ゼミ+i」サービスにおける中2コースでの追加採用など、次の事業の基盤となるサービス型ライセンス事業への取り組みも進展してきております。

当社は、「人と機械との自然なコミュニケーション」を担う中核技術をベースとした研究開発に注力しながら、その技術を実用化・普及させる企業群との連携を行い、社会的にも意義のある新しく巨大な市場の開拓を行おうとしております。中期経営計画の第3フェーズにおいてその具体的な事業の一つとして、溢れる声をコンピュータ処理可能な高付加価値データに変換するサービス事業に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

代表取締役会長 鈴木 清幸

代表取締役社長 長谷川 一行

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国の金融資本市場の混乱を発端とする世界的な景気後退を背景に、急激な円高、株価の大幅な下落等が企業の収益・財務を強く圧迫しており、先行きの不透明感が増しております。

このような情勢のもと、当社グループは、平成20年5月15日付発表の「中期経営計画」に基づきグループ子会社の整理を行い、音声事業に集中・特化してまいりました。加えて、当連結会計年度の目標である、コアドメインの確立による売上の安定化および原価率低減・固定費削減による収益力の向上達成に向け、各施策を実施してまいりました。

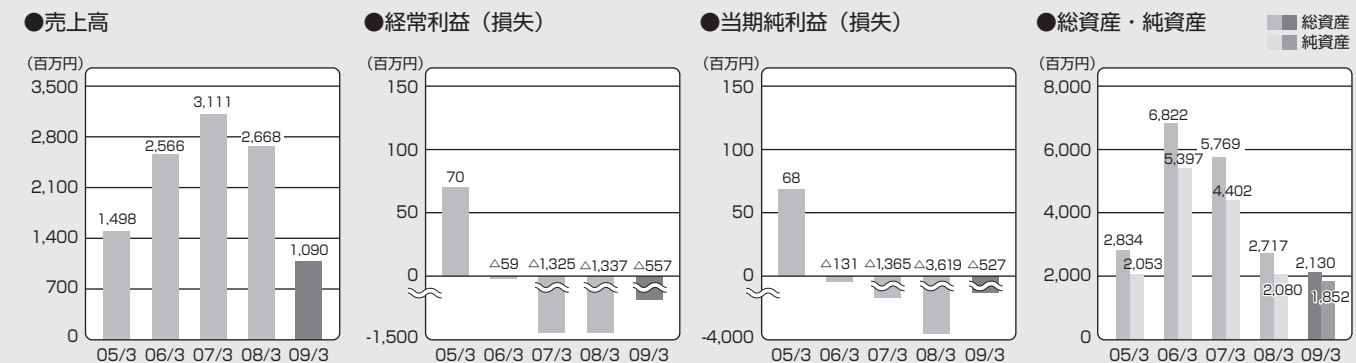
売上に関しては、医療分野におきまして、薬事法改正、オンライン請求義務化等に起因する大手調剤薬局等の新規投資の手控えの影響を受け、調剤薬局向け製品の売上が一部伸び悩みましたが、病院、クリニック向け『AmiVoice® EX』シリーズの販売が堅調に推移し、安定的な収益源となりました。一方、コールセンタ関連分野におきましては、特に金融機関向け大型案件などが信用収縮、景気低迷の顕在化の影響を大きく受け、成約に至らず、他方で製造・流通向け等金融機関以外の企業への導入に力点を移したものの、ソリューション部門の落ち込みをカバーするには至りませんでした。また、モバイル分野に

おいては、富士通株式会社製FOMA® 端末「らくらくホン」シリーズにおける当社DSR（分散型音声認識技術）クライアント搭載によるライセンス収入、ならびに株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ提供「音声入力メール」関連の受託開発などの取組みによって、一定の成果を上げることができました。

損益に関しては、「経営改善計画」に基づく施策推進を継続的にを行い、収益性が大幅に改善いたしました。前連結会計年度におけるソフトウェア資産の臨時償却および減損によって償却負担が大幅に軽減したに加え、受注プロジェクトの峻別・徹底したプロジェクトの進捗管理により原価率が低減し、さらに教育やモバイル分野におけるライセンス収入の比率の高まり等によって売上高総利益率が大幅に改善いたしました。また、オフィス移転、人件費抑制、支払手数料削減等による販売管理費抑制の効果も顕在化してきております。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,090百万円（前年同期は売上高2,668百万円）、営業損失は595百万円（前年同期は営業損失1,295百万円）、経常損失557百万円（前年同期は経常損失1,337百万円）、当期純損失は527百万円（前年同期は当期純損失3,619百万円）と赤字幅を縮小いたしました。

連結業績概況



※売上高の大幅減の要因は、経営改善計画に基づくグループ会社整理によるもの。

(当社では2006年3月期より連結会計を開始しており、グラフにおけるそれ以前の数値は単体です。)

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円)	当期 2009年3月31日現在	前期 2008年3月31日現在
資産の部		
流動資産	1,688,790	2,137,316
固定資産	441,413	580,082
有形固定資産	80,053	103,295
無形固定資産	169,792	248,275
投資その他の資産	191,568	228,511
資産合計	2,130,204	2,717,399
負債の部		
流動負債	269,054	609,702
固定負債	8,723	27,457
負債合計	277,777	637,160
純資産の部		
株主資本	1,917,536	2,087,401
資本金	4,377,595	4,198,973
資本剰余金	3,369,728	3,191,107
利益剰余金	△5,829,787	△5,302,680
評価・換算差額等	△70,879	△17,114
新株予約権	5,768	9,951
純資産合計	1,852,426	2,080,238
負債及び純資産合計	2,130,204	2,717,399

Point ① 売上高

売上高の前年比大幅減の要因は経営改善計画に基づくグループ会社整理によるもの。また、医療、議事録分野ともに売上高は前年を上回るペースで着地したものの、金融分野において世界的な景気後退の影響を受けました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)	当期 自 2008年4月1日 至 2009年3月31日	前期 自 2007年4月1日 至 2008年3月31日
① 売上高	1,090,511	2,668,345
売上原価	475,494	1,775,341
② 売上総利益	615,017	893,003
返品調整引当金繰入額	—	2,457
販売費及び一般管理費	1,210,097	2,186,227
営業損失	595,079	1,295,681
営業外収益	39,158	14,903
営業外費用	1,301	56,289
経常損失	557,222	1,337,067
特別利益	3,754	139
特別損失	1,559	2,278,639
税金等調整前当期純損失	555,027	3,615,567
法人税、住民税及び事業税	8,867	40,785
法人税等調整額	△36,788	△11,862
少数株主損失	—	25,452
当期純損失	527,106	3,619,038

Point ② 売上総利益

ライセンス収入増加および仕入、外注費、ソフトウェア償却費など売上原価低減により売上総利益は大幅に改善し、売上総利益率は33.5%から56.4%になりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 千円)	当期 自 2008年4月1日 至 2009年3月31日	前期 自 2007年4月1日 至 2008年3月31日
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	△461,517	△920,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,312	△165,908
財務活動によるキャッシュ・フロー	350,556	887,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	△796	11,812
現金及び現金同等物の増減額	△153,070	△187,621
現金及び現金同等物の期首残高	1,537,320	1,724,942
現金及び現金同等物の期末残高	1,384,249	1,537,320

Point ③

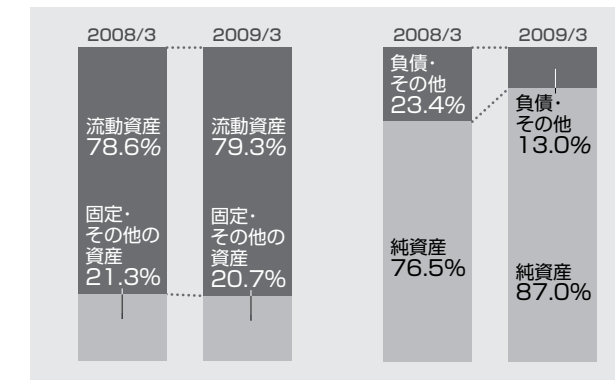
営業活動によるキャッシュ・フロー

収益改善により償却前の営業損失が大幅に改善し、事業を推進する上で必要な手元流動性は確保しており現金及び現金同等物の期末残高は1,384百万円となりました。

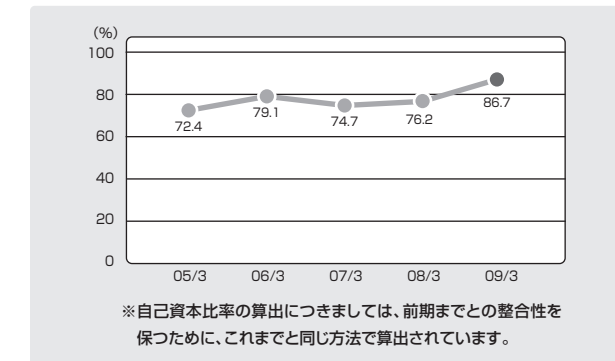
連結株主資本等変動計算書 (要旨) (自 2008年4月1日 至 2009年3月31日)

(単位: 千円)	株主資本				評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
2008年3月31日残高	4,198,973	3,191,107	△5,302,680	2,087,401	△865	△16,249	△17,114	9,951	—	2,080,238
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	178,621	178,621	—	357,242	—	—	—	—	—	357,242
当期純損失(△)	—	—	△527,106	△527,106	—	—	—	—	—	△527,106
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	△6,858	△46,906	△53,765	△4,182	—	△57,947
連結会計年度中の変動額合計	178,621	178,621	△527,106	△169,864	△6,858	△46,906	△53,765	△4,182	—	△227,811
2009年3月31日残高	4,377,595	3,369,728	△5,829,787	1,917,536	△7,723	△63,156	△70,879	5,768	—	1,852,426

貸借対照表



自己資本比率



Non-Consolidated Financial Statements

単体財務諸表

貸借対照表（要旨）

(単位：千円)	当期	前期
	2009年3月31日現在	2008年3月31日現在
資産の部		
流動資産	1,695,365	1,513,767
固定資産	580,068	1,079,532
有形固定資産	76,387	96,734
無形固定資産	192,621	272,356
投資その他の資産	311,059	710,442
資産合計	2,275,434	2,593,300
負債の部		
流動負債	263,461	368,374
固定負債	6,457	2,600
負債合計	269,919	370,974
純資産の部		
株主資本	1,999,746	2,212,374
資本金	4,377,595	4,198,973
資本剰余金	2,844,295	2,665,674
利益剰余金	△5,222,143	△4,652,273
新株予約権	5,768	9,951
純資産合計	2,005,515	2,222,326
負債及び純資産合計	2,275,434	2,593,300

損益計算書（要旨）

(単位：千円)	当期	前期
	自 2008年4月1日 至 2009年3月31日	自 2007年4月1日 至 2008年3月31日
売上高	1,081,796	1,276,926
売上原価	447,412	922,087
売上総利益	634,383	354,838
販売費及び一般管理費	1,201,645	1,532,497
営業損失	567,261	1,177,659
営業外収益	6,511	21,700
営業外費用	678	36,625
経常損失	561,429	1,192,583
特別利益	5,174	-
特別損失	4,865	2,478,832
税引前当期純損失	561,120	3,671,416
法人税、住民税及び事業税	8,750	3,800
当期純損失	569,870	3,675,216

株主資本等変動計算書（要旨）（自 2008年4月1日 至 2009年3月31日）

(単位：千円)	株主資本						新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			
2008年3月31日残高	4,198,973	2,665,674	2,665,674	△4,652,273	△4,652,273	2,212,374	9,951	2,222,326
事業年度中の変動額								
新株の発行	178,621	178,621	178,621	-	-	357,242		357,242
当期純損失(△)	-	-	-	△569,870	△569,870	△569,870		△569,870
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)							△4,182	△4,182
事業年度中の変動額合計	178,621	178,621	178,621	△569,870	△569,870	△212,628	△4,182	△216,810
2009年3月31日残高	4,377,595	2,844,295	2,844,295	△5,222,143	△5,222,143	1,999,746	5,768	2,005,515

Corporate Data

会社概要 (2009年6月25日現在)

会社名 株式会社アドバンスト・メディア
 設立 1997年12月
 資本金 43億7,759万円
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、他
 所在地 本社 〒170-8630
 東京都豊島区東池袋3-1-4
 サンシャインシティ文化会館6階
 Tel:03-5958-1031 (代表)
 Fax:03-5958-1032

連結子会社 AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ)
 業務提携先 Multimodal Technologies, Inc. (米国)
(持分法適用関連会社)

事業内容 ● **AmiVoice®** を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューションサポート事業」
 ● **AmiVoice®** を組み込んだアプリケーション商品を提供する「ライセンス事業」
 ● 企業内のユーザや一般消費者へのサービスに **AmiVoice®** を提供する「サービス事業」

役員 代表取締役会長 鈴木 清幸 社外取締役 小林 明隆
 代表取締役社長 長谷川一行 常勤監査役 石川 紘次
 取締役 藤田 泰彦 監査役 平尾 正樹
 取締役 立松 克己 監査役 向川 寿人
 取締役 吉田 一也
 取締役 小六 正修

Shareholder's Information

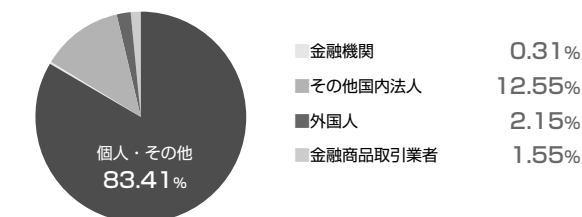
株式の状況 (2009年3月31日現在)

発行可能株式総数 358,000株
 発行済株式の総数 143,602株
 株主数 16,838名

大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	所有株数(株)	持株比率(%)
鈴木 清幸	10,500	7.31
トヨタ自動車株式会社	10,000	6.96
伊谷 秀隆	8,420	5.86
富士通マイクロエレクトロニクス株式会社	1,500	1.04
野村證券株式会社	1,220	0.84
安斉 哲夫	800	0.55
株式会社 共立メンテナンス	779	0.54
今西 信幸	683	0.47
メリルリンチ インターナショナル エクイティ デリバティブス	672	0.46
クレディ スイス インターナショナル	659	0.45

所有者別分布状況（株式数比率）



所有数別分布状況（株主数比率）

